

地域密着型金融(平成27年度)の取組み状況

平成27年度における当金庫の地域密着型金融の取組み状況をお知らせいたします。

1. 全体的な取組み状況

平成27年度の事業計画に基づき「地域密着型金融」に係る諸施策について、役職員が一丸となり積極的にその推進に取り組んでまいりました。その結果、全体的としては概ね順調な推進を図ることができました。

当金庫では、地域社会との共存共栄を目指す地域金融機関としての公共的使命に徹するとともに、持続的発展が可能な地域社会づくりをめざし、①ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化、②事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底、③地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献、について恒久的に取り組んでおります。

2. 具体的な取組み状況

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

① 創業・新事業支援

【取組み内容】 27年度事業計画の重点施策において、「ライフサイクル等に係る情報収集に努め新規開拓、深耕開拓に成果を上げる」とし、融資推進を中心とした行動計画のもと、創業・新事業支援を含む新規開拓に積極的に取り組みました。

【成果(効果)】 27年度中に創業・新事業支援に係る融資実行は、12件、146,760千円ありました。

② 経営改善支援

イ. 債務者区分のランクアップ

【取組み内容】 27年度は、4先をランクアップ見込先に選定するとともに、経営改善支援先33先選定しました。お取引先との共通認識のもと債務者区分のランクアップと経営改善支援に積極的に取り組みました。

【成果(効果)】 37先中1先がランクアップ(その他要注意先から正常先へ1先)となりました。引き続き積極的に取り組む方針です。

ロ. 要注意先以下の債権の健全化

【取組み内容】 債務者区分が、その他要注意先・要管理先、破綻懸念先以下の先について、整理改善方針を作成し営業店と本部が共通認識を持ち、整理改善指導を図りました。

【成果(効果)】 少しずつではありますが改善が図られております。なお、一気に健全化が図れるものではなく、日々の地道な積み重ねが必要と考えております。

※ お取引先の経営環境は、一向に良くならない厳しいものとなっております。当金庫では、お取引先の実情を十分にお聞きし、意見交換を行いながら、国・県保証制度の積極的な利用を推進しました。また、25年3月にて中小企業金融円滑化法の最終期限が到来しましたが、当金庫は、引き続き地域金融機関として地域のお取引先に対し資金を安定的に供給し、お取引先と当金庫が一体となり、経営改善に向けた取組を継続的に推進していく方針です。

ハ. ビジネスマッチングへの支援

【取組み内容】 北陸地区信用金庫協会が主催する「北陸ビジネス街道2015」に参画し、取引先企業の販路拡大等ビジネスマッチングの機会提供と支援を行うこととしました。

【成果(効果)】 お取引先の2企業が出展されました。商談は24件ありましたが、その中で2件の成約と継続商談が5件という結果でした。引き続き販路拡大を支援いたします。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

① 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

イ. 経営サポート資金の取扱

【取組み内容】 21年6月に担保・保証に過度に依存しない金庫独自の商品として「経営サポート資金Ⅱ」を発売し、26年3月で一旦終了することとしていましたが顧客よりの要望もあり引続き取扱いをすることにしました。

【成果(効果)】 経営サポート資金Ⅱの27年度中における実績は、18件 77,650千円となりました。

ロ. 富山県中小企業家同友会ローンの発売

【取組み内容】 20年12月に富山県内の信用金庫が連携し、同友会の会員皆様に支援する会員向けローンを発売しました。

【成果(効果)】 同友会会員が少ないことから、未だお取扱いはありませんが、引続き利用を勧めてまいります。

② 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

イ. 目利き力、審査機能の強化に向けた人材育成

【取組み内容】 人材の育成は事業継続の根幹をなすものであり、これまでも外部派遣研修、通信研修等を実施し能力の向上を図っております。リレーションシップバンキング以降は、特に、取引先企業等の支援や経営改善指導を的確に行える「目利き力」等の向上に力点を置いて人材の育成強化に取り組めました。

【成果(効果)】 ・27年度教育訓練計画に基づき、北陸地区信用金庫協会主催の研修に17講座17名(延べ47日間)が参加しました。
また、富山県信用保証協会の研修に3名(延べ3日間)が参加しました。
・その他、地域密着型金融に関する研修・会議・説明会等に積極的に参加し、情報収集や情報交換等を行いました。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

① 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

イ. 情報機能やネットワークを活用した取組み

【取組み内容】 ・全国信用金庫協会、信金中央金庫からの「地域活性化情報」、「ビジネスマッチング情報」、「景気動向調査」、「経営情報」等による情報を店頭、渉外活動を通じて積極的に取引先に提供しました。
・北陸税理士会による、無担保融資制度提携金融機関との金融懇話会に出席し情報交換を行い連携強化を図りました。
・地域密着型金融に関する研修・会議等に積極的に参加し、情報の収集を図りました。

【成果(効果)】 ・27年 5月に小矢部市商工会より講師派遣にて、講演会を実施しました。(福町支店)
・地域密着型金融に関する研修・会議等に積極的に参加し、情報収集を図るとともに必要に応じて情報提供を行いました。

② 地域活性化につながる多様なサービスの提供

イ. 会員・顧客の利便性向上への取組み

【取組み内容】 社会的なニーズ、会員・地域住民のニーズを的確に把握し、適時適切な施策に取組み、地域の活性化と会員・地域住民の負担に役立てていくこととしました。

- 【成果（効果）】
- ・27年5月 利用者満足度向上に係るアンケート調査の実施。
 - ・27年5月 債務者区分ランクアップ見込先の選定をしました。
 - ・27年6月 信用金庫の日にあわせ富山県信用金庫協会の収集ボランティアとしての古切手収集品を県ボランティアセンターへ贈呈しました。
 - ・27年7月 「空き家解体ローン」（しんきん保証基金保証付）の取扱を開始しました。
 - ・27年10月 「富山県のものづくり活性化を図る包括協定に関する覚書」を県内6信金とともに締結しました。
 - ・27年12月 年末資金繰り「休日金融相談窓口」の開設をしました。（12月19、20日）
 - ・27年12月 小矢部市内のソーシャルビジネスの振興に資するために当金庫、小矢部市、小矢部市商工会、及び㈱日本政策金融公庫高岡支店は「業務連携・協力に関する覚書」を締結しました。
 - ・28年3月 「レディースカーライフプラン」の発売しました。
 - ・28年3月 年度末資金繰り「特別金融相談窓口」の開設をしました。（3月14日～3月18日）

3. 経営改善支援等の取組み実績

【平成27年4月～平成28年3月】

（単位：先数）

（単位：%）

	期初 債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先数 α	α のうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 β	α のうち期末に 債務者区分が ランクアップしな かった先数 γ	α のうち再生 計画を策定し た先数 δ	経営改善 支援取組 み率 α / A	ランク アップ率 β / α	再生計画 策定率 δ / α
正常先 ①	1,394	2	2	2	2	0.1%		100.0%
要注 うち その他要注意先 ②	68	29	1	28	25	42.6%	3.4%	86.2%
意先 うち 要管理先 ③	3	1	0	1	1	33.3%	—	100.0%
破綻懸念先 ④	23	5	0	5	5	21.7%	—	100.0%
実質破綻先 ⑤	10	0	0	0	0	0.0%	—	—
破綻先 ⑥	3	0	0	0	0	0.0%	—	—
小 計（②～⑥の計）	107	35	1	34	31	32.7%	2.9%	88.6%
合 計	1,501	37	1	36	33	2.5%	2.7%	89.2%

【平成27年4月～平成28年3月における取扱実績】

（単位：件、千円）

項 目	件 数	金 額
創業・新事業支援	12	146,760
担保・保証に過度に依存しない「経営サポート資金Ⅱ」	18	77,650
国及び県の緊急融資保証制度	16	115,250